

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
カラスアゲハ	アゲハチョウ科	黒をベースとした 緑～青の輝き	x	x	○	全国



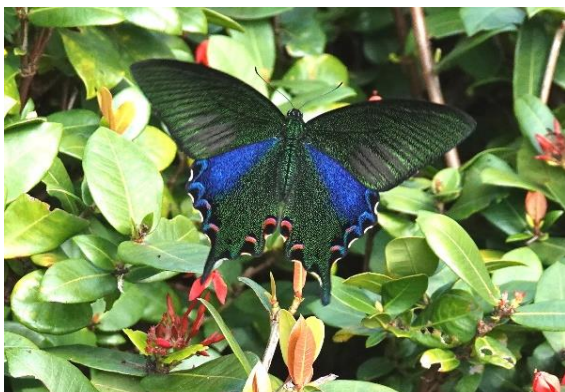
生田緑地 4月下旬 ♂吸水中



生田緑地 4月末 ♂池上空を飛翔



生田緑地 5月初旬 ♀ツツジで吸蜜



ヤエヤマカラスアゲハ♂ 2月中旬 石垣島 サندانカの花に飛来



ミヤマカラスアゲハ♂ 奥多摩日原 5月下旬 吸水中

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
コクサギ、カラスザンショウほか						3		蛹 (さなぎ)			

カラス以上に美しく、微妙な模様と配色のカラスアゲハは生田緑地まで足を伸ばせば見られるアゲハです。オスは湿地で吸水していることが多い一方で、メスは吸水には殆ど訪れず花に飛来して吸蜜しますが一つの花には束の間しか留まりません。

カラスアゲハのオスは青みが強いのに対し沖縄八重山諸島に生息するヤエヤマカラスアゲハ(カラスアゲハの八重山亜種)は全体に緑が濃く美しいことで知られています。

5月下旬に毎年、高尾山或いは、奥多摩の日原(鍾乳洞で有名)にカラスアゲハと、その美しさで人気のあるミヤマカラスアゲハを撮りに行きます。これらのアゲハチョウは「蝶道」という一定のコースを同じように飛ぶこと、またオスの吸水が時折、集団化することがあるなどの習性を知っているとこれらの蝶に会える機会が増えます。新緑の山々に取り囲まれた溪流沿いのすがすがしい空気の中で蝶たちと過ごす時間はまた格別です。



フシグロセンノウに飛来する♀ 9月初旬 入笠山



池上を飛ぶ♂ 生田緑地菖蒲園 4月末